

Ⅱ. 2013年度通期の業績見通し

業績見通しの変更は行っておりません。

1. 〔参考-1〕 4月30日公表数値（前回説明会資料）
2. 〔参考-2〕 主要各社の取り組み

〔参考-1〕4月30日公表数値(前回説明会資料) 連結損益計算書

(単位：億円、%)

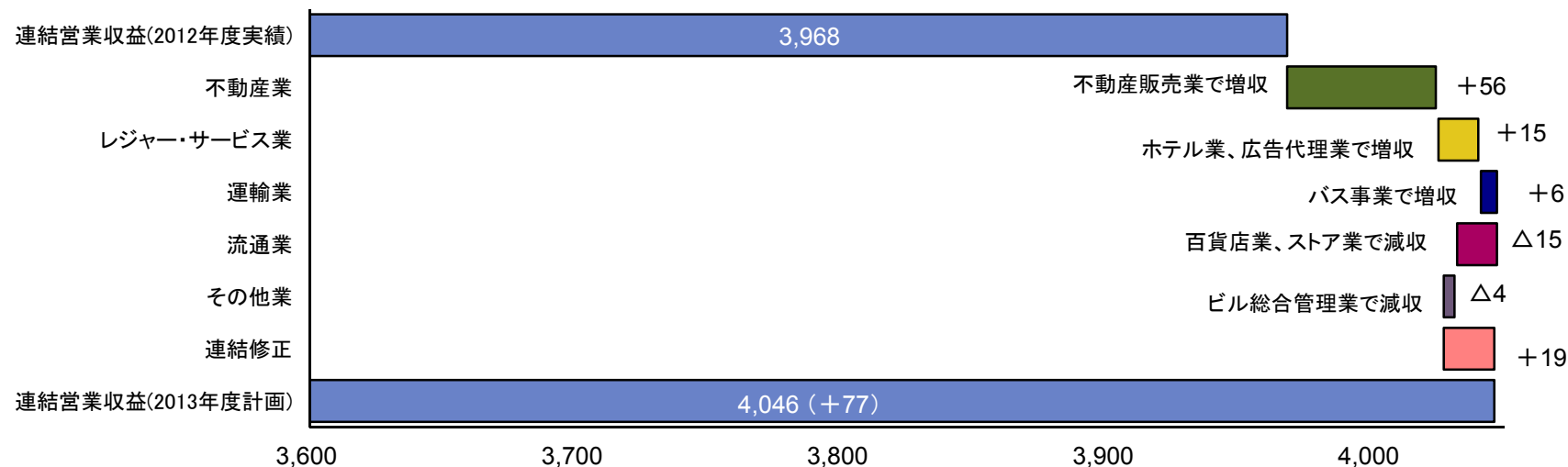
	2012年度 実績	2013年度 計画	増減 (増減率)	2013年度 見通し (2012.5.8公表)	差異 (差異率)
営業収益	3,968	4,046	77 (2.0)	4,026	20 (0.5)
営業利益	280	296	15 (5.6)	264	32 (12.1)
経常利益	245	260	14 (6.0)	225	35 (15.6)
当期純利益	147	158	10 (7.1)	145	13 (9.0)
E B I T D A	630	646	15 (2.5)	620	25 (4.2)
減価償却費	346	345	△0 (△ 0.1)	351	△6 (△ 1.7)
資本的支出	493	598	105 (21.3)	532	65 (12.3)

(注) EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

[参考-1]4月30日公表数値(前回説明会資料) 営業収益・営業利益の変動要因(対前期比較)

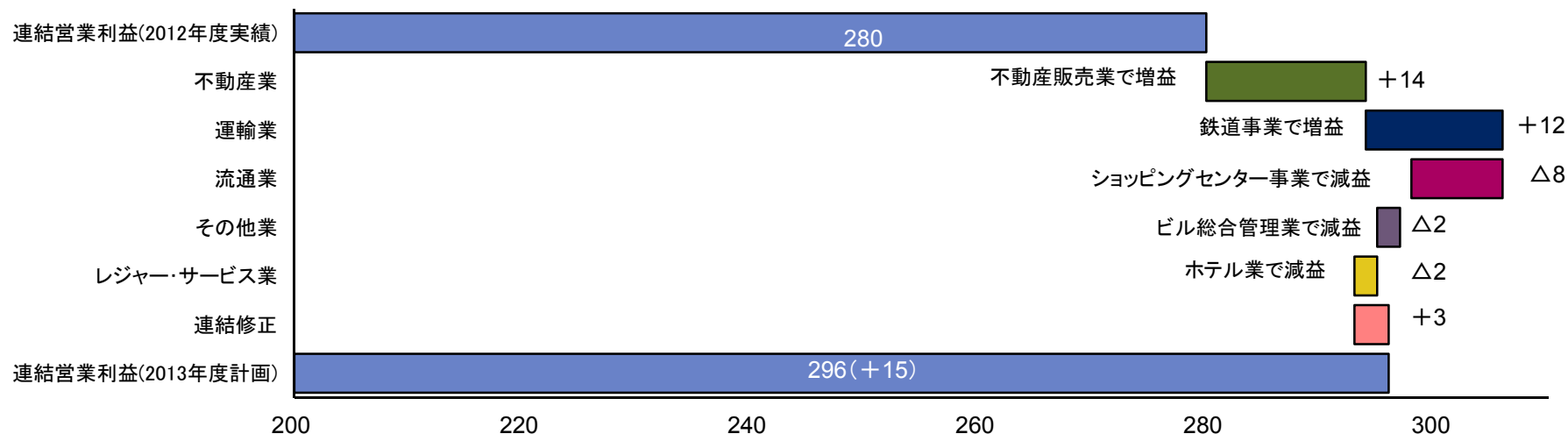
1. 連結営業収益

(単位: 億円)



2. 連結営業利益

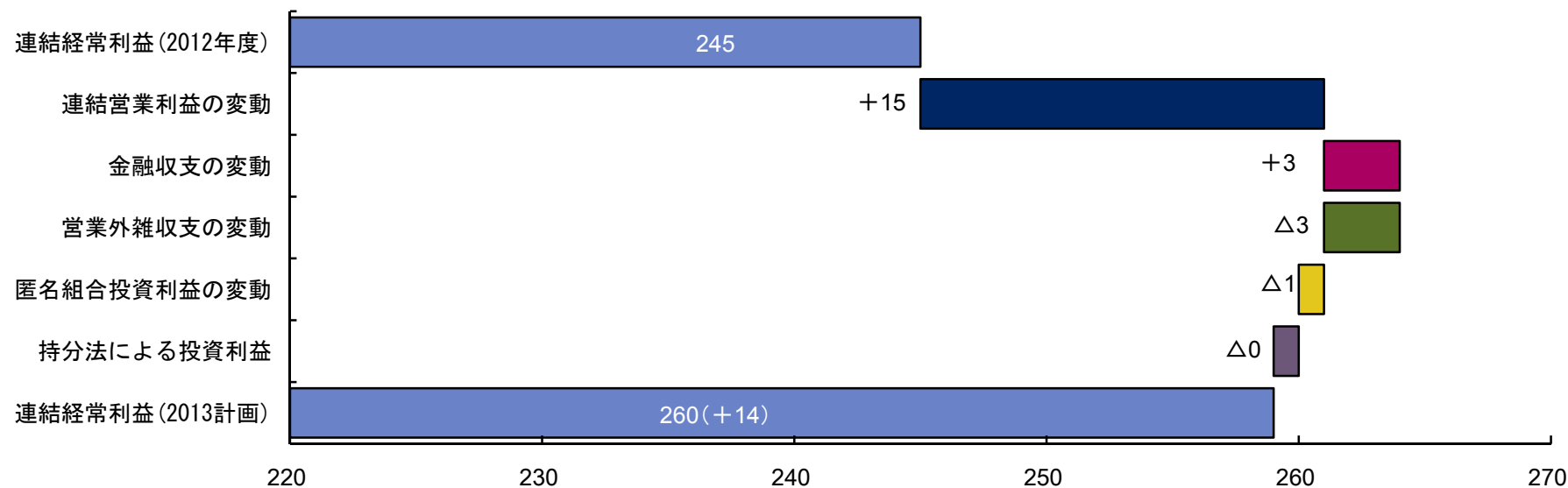
(単位: 億円)



[参考-1]4月30日公表数値(前回説明会資料) 経常利益・当期純利益の変動要因(対前期比較)

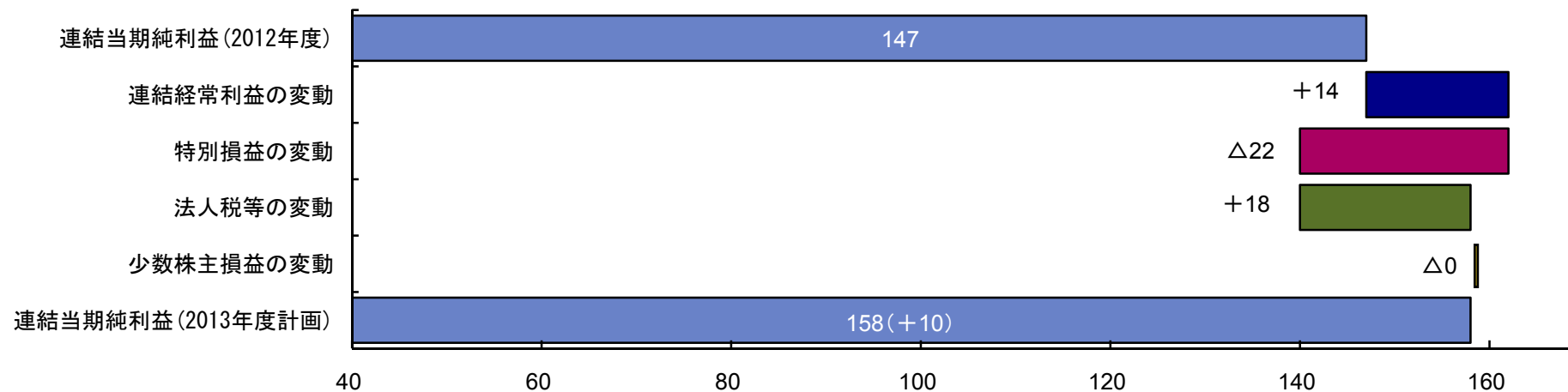
1. 連結経常利益

(単位：億円)



2. 連結当期純利益

(単位：億円)



〔参考-1〕4月30日公表数値(前回説明会資料) セグメント情報(運輸業①)

(単位：億円、%)

	2012年度 実績	2013年度 計画	増減(増減率)	増減要因	2013年度 見通し (2012.5.8公表)	差異(差異率)
(鉄道事業)	809	808	△ 1 (△ 0.2)	次ページ参照	801	6 (0.8)
(バス事業)	330	333	2 (0.9)	下表参照	328	4 (1.4)
(タクシー業)	131	131	0 (0.5)		134	△ 2 (△ 2.0)
(その他)	24	24	0 (1.2)		24	0 (1.2)
(消去)	△ 43	△ 39	3 —		△ 42	3 —
営業収益	1,253	1,259	6 (0.5)		1,247	11 (0.9)
営業利益	88	101	12 (14.5)		78	23 (29.7)
減価償却費	238	238	0 (0.0)		242	△ 3 (△ 1.4)
資本的支出	224	234	10 (4.7)		278	△ 44 (△ 15.9)
E B I T D A	327	340	12 (3.9)		320	19 (6.2)

参考：バス事業の事業別売上高

(単位：億円、%)

路 線	238	238	0 (0.2)		236	2 (0.9)
高 速	49	51	2 (5.4)		51	△ 0 (△ 0.6)

(注)今年度より、バス事業の集計方法について、これまで各バスグループ間において簡易連結していたが、単純合算する方法に変更した。

〔参考-1〕4月30日公表数値(前回説明会資料) セグメント情報(運輸業②〔鉄道事業運輸成績〕)

(単位：千人、百万円、%)

		2012年度 実績	2013年度 計画	増減 (増減率)	増減要因	2013年度 見通し (2012.5.8公表)	差異 (差異率)
輸 送 人 員	定 期	360,945	358,664	△2,281 (△0.6)	沿線労働力人口 の減など	357,598	1,066 (0.3)
	(通勤)	267,414	265,521	△1,893 (△0.7)		264,947	574 (0.2)
	(通学)	93,531	93,143	△ 388 (△0.4)		92,651	492 (0.5)
	定 期 外	264,740	263,340	△1,400 (△0.5)	沿線労働力人口 の減など	263,304	36 (0.0)
	合 計	625,685	622,004	△3,681 (△0.6)		620,902	1,102 (0.2)
旅 客 運 輸 収 入	定 期	32,899	32,707	△ 192 (△0.6)	輸送人員の減など	32,678	29 (0.1)
	(通勤)	29,211	29,032	△ 179 (△0.6)		29,025	7 (0.0)
	(通学)	3,688	3,675	△ 13 (△0.4)		3,653	21 (0.6)
	定 期 外	44,830	44,627	△ 202 (△0.5)	輸送人員の減など	44,537	89 (0.2)
	合 計	77,729	77,334	△ 395 (△0.5)		77,216	118 (0.2)

〔参考-1〕4月30日公表数値(前回説明会資料) セグメント情報(流通業)

(単位：億円、%)

	2012年度 実績	2013年度 計画	増減 (増減率)	増減要因	2013年度 見通し (2012.5.8公表)	差異 (差異率)
(百貨店業)	906	899	△ 7 (△ 0.8)		895	3 (0.4)
(ストア業)	364	362	△ 2 (△ 0.7)	既存店の売上減	370	△ 8 (△ 2.2)
(書籍販売業)	103	101	△ 2 (△ 2.1)		109	△ 7 (△ 7.1)
(駅売店業)	84	81	△ 2 (△ 3.1)		82	△ 0 (△ 1.1)
(ショッピングセンター事業)	105	104	△ 0 (△ 0.9)		104	△ 0 (△ 0.1)
(その他)	115	116	0 (0.9)		125	△ 9 (△ 7.4)
(消去)	△ 65	△ 66	△ 0 -		△ 68	2 -
営業収益	1,614	1,599	△ 15 (△ 0.9)		1,619	△ 20 (△ 1.3)
営業利益	53	44	△ 8 (△ 16.2)		50	△ 5 (△ 10.8)
減価償却費	30	31	1 (4.0)		32	△ 0 (△ 1.0)
資本的支出	37	71	34 (93.8)		42	29 (70.5)
E B I T D A	83	76	△ 7 (△ 8.8)		82	△ 5 (△ 7.0)

〔参考-1〕4月30日公表数値(前回説明会資料) セグメント情報(不動産業)

(単位：億円、%)

	2012年度 実績	2013年度 計画	増減 (増減率)	増減要因	2013年度 見通し (2012.5.8公表)	差異 (差異率)
(不動産賃貸業)	293	299	5 (2.0)	京王不動産 +2 リビタ +1	289	10 (3.6)
(不動産販売業)	98	148	50 (50.9)	リビタ +35 京王不動産 +14	143	5 (3.7)
(その他)	11	9	△ 2 (△ 23.1)		14	△ 5 (△ 36.5)
(消去)	△ 88	△ 84	3 —		△ 89	5 —
営業収益	316	373	56 (18.0)		357	15 (4.3)
営業利益	92	107	14 (15.4)		95	11 (12.0)
減価償却費	40	39	△ 0 (△ 1.3)		40	△ 0 (△ 1.2)
資本的支出	136	220	84 (62.2)		162	58 (36.0)
E B I T D A	137	150	13 (10.1)		139	11 (7.9)

参考：不動産業の営業利益の内訳

(単位：億円、%)

不動産賃貸業	92	92	0 (0.4)		83	8 (10.3)
不動産販売業	7	12	5 (68.8)	電鉄 +2 リビタ +2	14	△ 1 (△ 10.6)

[参考-1]4月30日公表数値(前回説明会資料) セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位: 億円、%)

	2012年度 実績	2013年度 計画	増減 (増減率)	増減要因	2013年度 見通し (2012.5.8公表)	差異 (差異率)
(ホテル業)	421	429	7 (1.7)	プラザホテル +4	431	△ 1 (△0.5)
(旅行業)	166	170	3 (2.0)		173	△ 3 (△2.0)
(広告代理業)	104	109	5 (5.1)		109	0 (0.0)
(その他)	59	60	0 (0.7)		59	0 (0.8)
(消去)	△95	△96	△ 0 —		△95	△ 0 —
営業収益	656	672	15 (2.4)		678	△ 5 (△0.8)
営業利益	40	37	△ 2 (△ 6.8)		35	2 (6.0)
減価償却費	34	33	△ 1 (△ 3.3)		33	△ 0 (△1.5)
資本的支出	64	67	2 (3.9)		49	17 (35.2)
E B I T D A	75	71	△ 3 (△ 5.2)		69	1 (2.3)

[参考]京王プラザホテル(新宿)の客室稼働率・客室単価〔累計〕

客室稼働率	87.6%	87.1%	△0.5P
客室単価	14,142円	14,774円	632円

〔参考-1〕4月30日公表数値(前回説明会資料) セグメント情報(その他業)

(単位：億円、%)

	2012年度 実績	2013年度 計画	増減 (増減率)	増減要因	2013年度 見通し (2012.5.8公表)	差異 (差異率)
(ビル総合管理業)	212	200	△ 12 (△ 5.9)	受注減	200	0 (0.1)
(車両整備業)	86	79	△ 7 (△ 8.6)		77	1 (2.2)
(建築・土木業)	163	178	14 (9.0)		202	△ 23 (△ 11.7)
(その他)	57	62	5 (9.5)		63	△ 1 (△ 1.8)
(消去)	△23	△ 28	△ 5 —		△ 27	△ 0 —
営業収益	496	491	△ 4 (△ 1.0)		515	△ 23 (△ 4.6)
営業利益	10	7	△ 2 (△ 28.5)		9	△ 1 (△ 19.3)
減価償却費	3	3	0 (1.1)		3	△ 0 (△ 4.4)
資本的支出	36	7	△ 28 (△ 79.4)		5	2 (38.1)
E B I T D A	13	11	△ 2 (△ 20.7)		12	△ 1 (△ 14.8)

〔参考-2〕 主要各社の取り組み

①京王百貨店 2013年度の主なピックアップ

- 京王百貨店では、開店50周年に向けたリニューアルや商機拡大に向けた小型店の展開に取り組んでおります。

開店50周年に向けた取り組み

- 京王百貨店では、2014年の開店50周年に向け、「新・日常生活へ」をテーマに「美」、「健康」、「趣味」、「新しい食」の各分野を強化するため、段階的なるリニューアルを実施しております。
- また、60歳以上のお客様に加え、新たに45～59歳のお客様のご支持獲得を目指し、各種施策に取り組んでおります。
- これらの一環として、2013年9月に新宿店の2～4階を改装し、グランドオープンいたしました。



小型サテライト店の展開

- 京王百貨店では、商機拡大に向け、小型店の展開を進めております。2012年10月に2号店である「セレオ八王子店」を開店し、業績は好調に推移しています。今後も同形態の展開を検討してまいります。



セレオ八王子店 店内



セレオ八王子店 外観

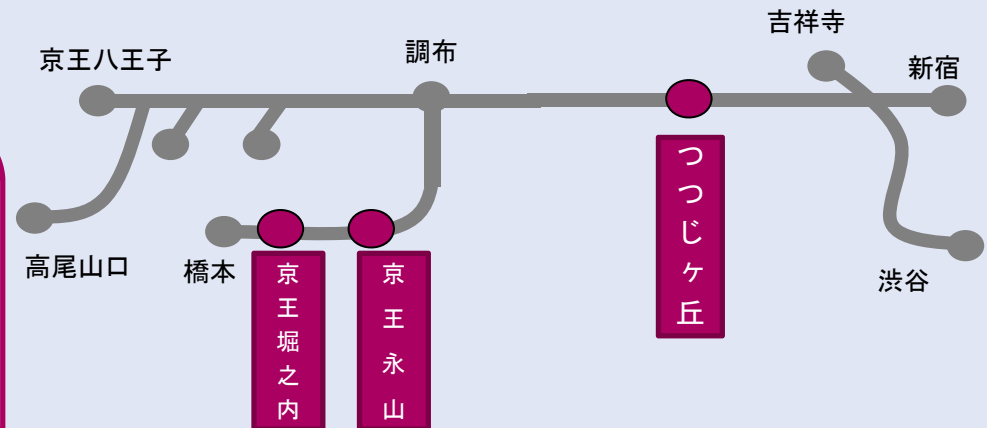
〔参考-2〕 主要各社の取り組み

②京王ストアエクスプレスの展開

■京王ストアでは、駅の立地特性を活かした小型業態店「京王ストアエクスプレス」の出店を拡大します。現在2店舗(つつじヶ丘、京王永山)で、2013年内に京王堀之内に3号店を出店予定。

つつじヶ丘店

- 2011年11月
- 小型店1号店を開業
- 売場面積:約60.0坪



京王永山店

- 2012年11月
- 小型店2号店を開業
- 売場面積:約60.0坪



京王堀之内店

- 京王堀之内駅構内に2013年内開業予定
- 売場面積:約40.0坪(予定)

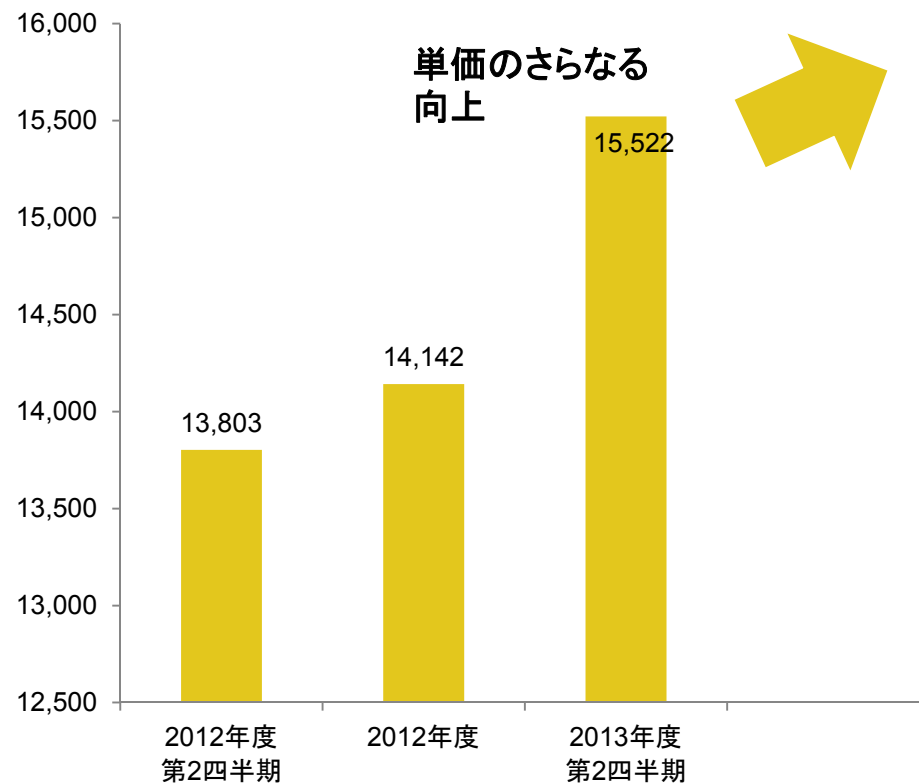


〔参考-2〕 主要各社の取り組み

③京王プラザホテル新宿 稼働率・単価月別推移

- 京王プラザホテルでは、現在の高稼働率を維持したまま、さらなる単価の向上を目指し、各施策に取り組んでまいります。
- その一環として、本年は南館28～33階の客室改装を予定しており、7月3日から「プラザリュクス」として順次販売を開始しております。

京王プラザホテル新宿（平均客室単価累計）



京王プラザホテル新宿（南館高層客室）の改装

